

平成28年度における歴史民俗資料館の管理運営に対する評価票

所管課：教育委員会 地域教育課

評価対象期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

評価委員会開催日：平成29年9月13日

1 指定管理者

指定管理者	地域文化財研究所・ケントクグループ
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日（5年間）
施設概要	発掘による埋蔵文化財や、市民から寄贈された農具、民具などの民俗資料が多くあることから、これらを収蔵し、展示、公開するとともに、長年にわたり伝えられてきた民話の紹介などイベントの開催やリーフレットの発行などにより、特徴ある郷土の歴史、文化をより深く理解し、誇りと親しみを感じてもらうことを目的とする。
指定管理料	10,911千円（平成28年度）

2 管理運営の内容

項 目	28年度の状況
運営状況	○平等利用の確保 ・職員に対する接遇教育や、案内資料の整備、ミーティングを通じた意思統一などにより来館者への平等で均一なサービスの提供に努めた。 ・車椅子で来館の方は介助者と来館されるため、職員は介助の妨げにならないよう配慮した。障がい者が使いやすい共用トイレがあるので、トイレ使用目的の方も多く、公共施設としての役割を果たした。 ○自主事業の展開 ・市との共催も含め、施設の特色を生かし、目的に沿ったイベントを重点に計画し、研修室を利用した児童向けの「手作りに挑戦」や大人向け有料講座「考古学講座 歩いて学ぶ考古学講座」など各種イベントを年間計30回開催した。文化財フィギュア（土器・埴輪・仏像等）のガチャガチャを設置した。 ○施設の情報提供 ・ポスター、市広報誌、当館HPなどにイベント情報を掲載。大阪府立弥生文化博物館で開催の「キリシタン墓とその前史」展で館長が講演し対外PRを行なった。また、「四條畷市史」第5巻考古編刊行され、読売新聞で市史発刊の記事が掲載され、資料館見学と同時に買い求める人が多くあった。 ○安全確保対策 ・安全性の面から、雨天時には資料館通路が滑りやすくなっているため、滑り止め塗布工事を行った。 ・災害の際、緊急ネットワークが機能するよう緊急連絡先の掲示などを行った。
維持管理状況	○保守点検 ・各設備の稼動状況に合わせた最適なメンテナンス計画を立て実施した。 ・2階研修室の照明について省エネを考慮し、蛍光灯をすべてLEDに取替を行った。 ・資料館前に掲示板を新しく設置した。 ・職員による蛍光灯交換、機器の状況点検など職員を動員した、効果的な維持保全に努めた。 ○清掃業務 ・通常のコスト業務に加え、自主的に館周辺の草刈や清掃を実施した。

	○警備業務 ・ 通常の機械警備に加え、災害やトラブル発生の際、緊急ネットワークが機能するよう緊急連絡先及び緊急連絡対応体制の掲示を行った。 ○環境への配慮 ・ 年間を通した空調温度の見直し、ＯＡ機器の適正使用、こまめな消灯の実施など、環境保全の推進と経費削減に努めた。 ・ ゴミ箱の共用化、種類別の設置などによりゴミの分別と少量化に努めた。
利用状況	今年度は、生駒ふるさとミュージアムや大阪府立近つ飛鳥博物館、大阪府立弥生文化博物館、大阪府立狭山池博物館へ教育委員会が遺物を貸し出すなど府外からの注目もあり、市内はもとより市外からも来館者があった。 来館者には、指定管理者職員の説明でゆっくりと見学していただき、四條畷の歴史を広くＰＲすることができた。また、例年と同様３年生の「昔のくらし」の校外学習で畷古文化研究保存会の協力を得て、子供たちが実物に触れる体験学習を実施した。 前年度と比較し、一般団体利用が増加したものの個人の利用が１４％以上と大幅に減少したことから、利用者数は全体で８．７％の減少となった。 ・ 学校・保育所 724 人(0.5%減) ・ 一般団体 1,963 人(8.9%増) ・ 個人 5,704 人(14.4%減) 合計 8,391 人(8.7%減) ※開館日数 281 日（３日増）
収支状況	当年度収入 11,160,387 円（指定管理料収入：10,911,000 円、自主事業収入：249,387 円）に対し、支出 11,138,801 円、収支は 21,586 円の黒字。

３ 利用者へのアンケート調査

項 目	28年度の状況
調査の実施内容	対象：施設利用者 調査期間：平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日 調査方法：アンケート用紙と箱を展示室に設置。自由に記入してもらう 回答件数：182 件
調査の結果	どちらから来館したか：市内 112 人（62％）、市外 70 人（38％）。 他府県として和歌山県・奈良県・兵庫県あり。 スタッフの対応：「満足」が約 90％ 「やや満足」を含めると約 96％ （「不満」「やや不満」は 0％） 展示の解説への対応：「分かった」が約 84％ 「だいたい分かった」を含めると 99％
主な苦情・意見等	【意見・要望、イベントの希望など】 ○小学生以下 ・昔のあそびをしてみたいです。 ・ぬりえやパズルを作ってみたい。 ・まが玉づくり、はにわづくり。 ・かせきをほるたいけん。 ・かみしばい、れきしのげき。 ○中学・高校生 ・もっといろんな歴史にふれさしてほしい。 ・楽しかったです。シカの骨の頭に乗っている米がかつらに見えます。 ○19～39 歳 ・私が小学生の時によく来ていたので、娘にも見てもらいたいと思いました。わかりやすい説明をして頂き、小さい時とはまた違った思いで来ました良かったです。

	・小学校の頃よく訪ねました。近くを通ったのでふと寄ったのですが、とても懐かしかったです。子どもの頃の思い出がよみがえります。昔はよく塗り絵などもしに来ましたが、今の子どもたちはもうそうではないんですね。時代はかわるものですね。では、また懐かしくなった時に訪ねることにします。 ○40～59 歳 ・文化財保存は大変に大事な仕事だと思います。枚方には、このような資料館がないのを大変残念に思います。又寄せていただきます。本日は継体天皇とのつながりの興味があってやってきました。 ・今日は館長さんに説明をして頂きどうもありがとうございました。来た価値がありました。 ・とてもためになりました。常設展にも来てみたいです。 ○60 歳以上 ・ヒスイをよく集められましたね。 ・毎年この時期を楽しみにしております。野島さんの解説、とてもわかりやすく、こぼれ話興味深かったです。佐野さんのイラスト心がなごみます。大ファンです。 ・特別展として各地から集められた珍しい物を沢山見せていただけるのは本当に楽しみです。毎年楽しみにしておりますので、いつまでも続けてくださいます様お願いします。 ・中学生の職業体験・・・将来考古学の勉強に役立てばよろしいですね。 ・詳しく説明して頂きありがとうございました。ヒスイについてより詳しく知ることが出来ました。 ・毎回テーマをしぼっての展示、四條畷の歴史的に知る上でよい企画です。 ・特別展はいつもすばらしい、スタッフの対応ありがとうございました。 ・毎年、新しい資料、講話で満足しています。これからもよろしくお願いします。
--	--

4 施設の評価

管理運営の総合評価	○5 ●4 ○3 ○2 ○1
講 評	来館者へのアンケート調査結果によると、スタッフの対応については96%の方が「満足」・「やや満足」という結果で、「不満」「やや不満」は0%であった。また展示の解説への対応は99%の方が「分かった」「だいたい分かった」という結果で、ほとんどの人が展示解説内容を理解できていた。 施設の運営面では、前年度と比較して一般団体の利用は増加しているが、個人の利用は14%以上と大幅に減少しており、利用者数は全体で800人の減少となった。特に夏休み期間の減少が著しく、イベント開催手法の変更の影響も考えられる。しかし、HPやポスター掲示などの広報活動などにより、市内はもとより市外からも来館者があった。来館者には、指定管理者職員の説明でゆっくりと見学していただき、四條畷の歴史を広くPRすることができた。また、例年どおり3年生の「昔のくらし」の校外学習で、畷古文化研究保存会の会員の協力を得て子供たちが実物に触れる体験学習を実施しており、子供たちへ郷土の歴史・文化に触れる機会を提供するという点で今後も継続していただくとともに、工夫を凝らしたイベントなどを継続し、利用者の増加に努めていただきたい。 施設の管理面では、施設内にとどまらず周辺の清掃も実施し周辺環境に配慮している点が顕著である。 以上の内容から「計画内容をやや上回るために努力している」と判断し、評価を「4」とする。

(参考) 評価の基準

- 5 計画内容を上回る（非常に満足できる）結果
- 4 計画内容をやや上回る（満足できる）結果
- 3 計画内容どおりの（妥当と判断する）結果
- 2 計画内容をやや下回る（不満が残る）結果
- 1 計画内容を下回る（非常に不満が残る）結果